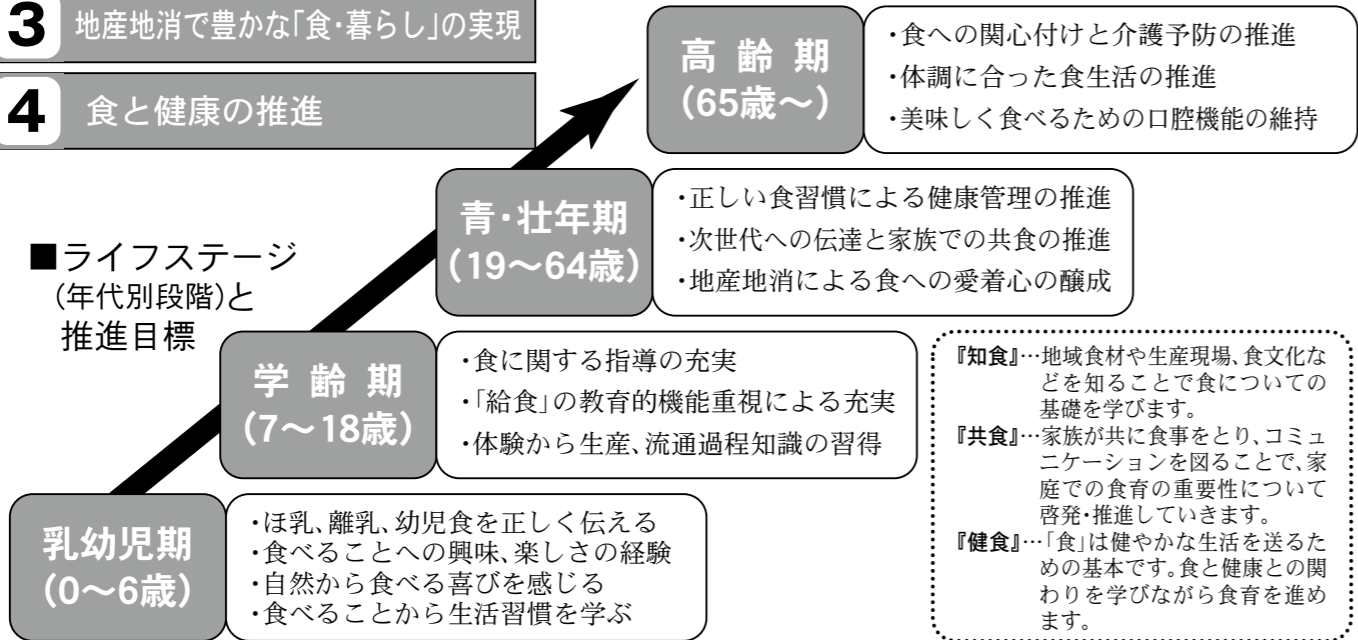


■ 4つの基本方針(重点目標)

- 1 「食育」についての理解と実践
- 2 地域の「食」を知る体験・伝承
- 3 地産地消で豊かな「食・暮らし」の実現
- 4 食と健康の推進

■ 目指す姿

「知食」「共食」「健食」による豊かな暮らしの実現へ



地産地消による食育

留萌地域は、自然の恵みから旬を感じられる多彩な食材が豊富です。未来を担う子供たちや、市民全体がさまざまな機会を通じて身近な土地、風土、気候で育った豊かな食材に触れ、体験が育む感謝の心、地域の歴史、文化を大切に作る気持ちを養い、安全で安心な食べ物を食する暮らしの実現につながることが重要です。

地産地消による食育

留萌地域は、自然の恵みから旬を感じられる多彩な食材が豊富です。未来を担う子供たちや、市民全体がさまざまな機会を通じて身近な土地、風土、気候で育った豊かな食材に触れ、体験が育む感謝の心、地域の歴史、文化を大切に作る気持ちを養い、安全で安心な食べ物を食する暮らしの実現につながることが重要です。

- 子どもの食農教育推進事業
- 留萌キッズ農林漁業体験事業
- 地元食材100%給食事業
- はつらつ栄養講座事業
- 健口教室事業

第2次留萌市食育推進計画は、市ホームページ(<http://www.e-rumoi.jp/>)をご覧ください。

基本方針と主な事業

市では、これまでの着実な食育推進活動の成果を踏まえ、さらなる食育に対する理解と実践を進めるため、上記の目指す姿と基本方針によりライフステージに応じた食育活動を推進していきます。

〈平成25年度の主な事業(抜粋)〉

- 乳幼児健診及び離乳食教室などの開催



留々菜(直売所)
Aコープルピナス内の産直市場。産直部会「留々菜」会員55人の生産者が、自ら収穫し、生産者名を明記して値段をつけて店頭並べています。

地産地消による「食育」



うまいよ！るもい市
年4回、海産物を中心とした留萌の旬の食材を提供する産直イベントを開催しています。



地域情報発信フリーペーパー
地域の「食」「人」などに関する情報を紹介しています。

「食育」

健康で豊かな食生活を家庭から始めませんか？
留萌は多彩な「食」の宝庫です！

お問い合わせは

農林水産課

☎42-1837

計画の趣旨

人は「食」によって健康を維持しています。全ての世代が食と健康の大切さを自覚するとともに、健康な生活を維持し、豊かな人間形成を育むことが大切です。

社会背景と食育の重要性

「飽食の時代」を迎え、物心両面での豊かさや価値観の変化、生活スタイルも多様化しています。旬や季節を問わずに食べ物を得ることができ、さらにコンビニエンスストアやファストフードの増加により、手間や時間をかけず手軽に食事を済ませることが可能です。便利な反面、不規則な食事時間や食生活の日常化、脂質の過剰摂取、野菜摂取不足による栄養バランスの乱れなど、子どもたちの偏食から青年期・壮年期の生活習慣病の増加に至るまで、健康面に影響が生じています。また、超高齢化社会を背景に、一

「食」に関する知識と選択する力を習得し、健全な食生活を実践する「食育」を日常の中で体系的に取り組むことが必要です。生涯にわたり健康で豊かな生活の実現を目指し、関係者が一体となって食育活動の推進を図っていくため、第2次留萌市食育推進計画を策定しました。

人暮らし世帯の高齢者が増加し、食生活の質の低下や孤食化、低栄養リスクも懸念されています。市民がおたがいに食育に関心を持ち、食生活や伝統的な食文化をととに考え取り組むことが大切です。

食育アンケートの結果(抜粋)

今回、計画策定にあたり3～15歳の子育て世帯を対象にした保護者へのアンケートを行いました。

①「食育」について77%の人が「関心ある」「どちらかといえばある」と回答しています。

②食育の場として、家庭、学校のどちらが重要と思うかとの問いに対しては、55%と半数以上の方が「同じくらい」と回答しています。

③家庭において地元産の食材を購入していますかとの問いに対しては、「積極的に購入するようになっている」「目に付けば購入する」と回答した家庭が67%となっており、地元産の食材の購入を意識している家庭が多いことが分かります。

